



チーム りきごう

学校通信

9号 力合小学校

校長 岡崎 雄治

明けましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

本日、3学期の始業式を終え令和6年度の最後の学期が始まりました。

昨年12月の終盤はインフルエンザ罹患等による欠席が増え、1学級を学級閉鎖することになりました。その月の保健目標は「かぜ・インフルエンザをよぼうしよう」でしたが、本校だけではなく市内や県内、日本全体でここ数年にないインフルエンザ感染者数の増加だったと報道されていたように、予防するのも大変な状況でした。冬休み中、ご家庭ではいかがだったでしょうか。始業式の本日の欠席者は学校全体で三十数人、そのうち2割ちょっとがインフルエンザ罹患によるお休み（出席停止）です。この前の日曜日、車を運転していると日頃とは異なる箇所での渋滞に遭遇しました。休日当番医院の駐車場に入りきらない車が道路まで連なっていることだったようです。まだまだ、感染は収まる気配はあまり感じられませんし、ここ数日は冷え込みも強くなりそうです。普段にもまして、十分な睡眠、ほど良い運動、栄養のある食事について意識して体調管理に努めなければなりませんね。

今週末からの三連休が過ぎれば1月も中旬。始業式の中で子どもたちにも話しましたが、3学期は1・2学期より期間が短いので、一日一日を充実させていくために計画的に前に進んで行けるよう、学校でもしっかりと子どもたちの頑張りを後押ししていきたいと思います。

蛇足ですが、今年の初夢は「(自分でも)なんていいこと言うんだろう」と思って目が覚めたのですが夢の中で何て言っていたか見事に忘れてしまいました。

リーディング DX スクール事業

「個別最適な学び」「協働的な学び」「GIGA スクール構想」などは、教育関係の報道で見聞きされたこともあるのではないのでしょうか。標題の事業名のDXとはデジタルトランスフォーメーションのことで、事業内容については「GIGA 端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に好事例を展開するための事業です。」と文部科学省の説明にあります。本校でも今や当たり前となった一人一台端末を日常的に活用した授業実践を進めており、今月は22日に教育委員会の訪問を受け、全学級で授業を公開し教育委員会の担当者と本校の先生方とで授業づくりについて研修を行うことになっています。

また、30日(木)には市内全ての小学校の教職員が参加する授業研究会が行われ、東西南北と中央の5ブロックに分かれ代表者の授業を参観し自身の授業に生かすための授業研究会を行います。

このような研修からもお判りいただけると思いますが、タブレット端末や電子黒板などのデジタル機器の使用自体が目的ではなく、全ての子どもたちの学びが深まるための一つの道具として活用して授業を充実させていくことを目指しています。先日、日本でこれらの事業等を先頭に立ってリードしているお二人(文部科学省の担当者と大学教授)のオンライン講座を受講しました。そこでも、やはり授業をより良いものにしていくために、ICT活用は大きな力を発揮することを全国の実践事例と共に紹介し、解説されていました。

本日の始業式はオンラインで行いましたが、校長の話の最後に、子どもたちに質問をしてそれにタブレットで回答してもらいました。私が伝えたかったことがきちんと伝わったかを知り、今後の私の伝え方を改善していくことがねらいです。午前中のうちには400人を超える子どもたちからの回答を整理し傾向まで把握できました。これもICTのなせる技ですね。その結果は、私が思っていた以上にもっと私の伝え方は改善が必要とを感じるものでした。子どもたちの話の内容の捉え方の傾向を掴むことで授業中の説明や指示ももっと伝わりやすくなることにもつながることでしょう。こんなに便利で有効に使える道具をどう使っていくか、本校でも研鑽に努めてまいります。

<1月の保健目標 >

にがてなたべものにも挑戦しよう

<1月の生活目標>

だれにでも笑顔で元気よく、自分からあいさつしよう